

令和8年度 江戸川区立第六葛西小学校 特別活動全体計画

校長名 中山 和義

<p>【法的根拠】 日本国憲法 教育基本法 学校教育法 学習指導要領</p>	<p>学校の教育目標</p> <p>◎考える子 ○思いやりのある子 ○やりぬく子 ○元氣な子</p> <p>『考える子』を本年度の教育目標の重点とし、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るとともに、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を通して学力向上を図る。そして「深く考える」「よりよく考える」「相手の立場になって考える」など、「考える子」についての実践を引き続き強め、人間性豊かな児童の育成に努める。</p>	<p>【地域の実情】 【学校の実情】 【児童の実態】 【教師の願い】 【保護者の願い】</p>
--	---	---

<p>特別活動の目標</p>	<p>集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を發揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、資質・能力を育成することを目指す。</p>
----------------	---

<p>目指す児童像</p>	<p>○ 活動の目標を達成するための方法や手段などを全員で考え、話し合い、協力して実践できる児童 ○ 自分の役割や責任を果たすとともに、活動の目標について振り返り、生かすことができる児童 ○ 集団の中で、互いのよさを認め合うことができ、自由な意見交換ができる児童</p>
---------------	---

<p>特別活動の重点目標</p>	<p>一人一人の児童が互いのよさや可能性を認め、生かし、伸ばし合うことができるような集団活動を行い、望ましい集団を育成しながら個々の児童に育てたい資質や能力を育成したりする。</p>
------------------	---

目標	学級活動	児童会活動	クラブ活動	学校行事
指導の方針	<p>学級や学校での生活をよりよくするための課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>○学級における集団活動に進んで参画することや意識的に健康で安全な生活を送ろうとするなどの意義について理解するとともに、そのために必要となることを理解し身に付けるようにする。 ○学級や自己の生活、人間関係をよりよくするための課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 ○学級における集団活動を通して身に付けたことを生かして、人間関係をよりよく形成し、他者と協働して集団や自己の課題を解決するとともに、将来の生き方を描き、その実現に向けて、日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。</p>	<p>異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>○学校生活の充実と向上のために、組織づくりや役割分担を行い、異年齢の児童と協力して児童会活動に取り組むことや、児童会の一員として役割を果たすことが大切であることを理解し、計画や運営の仕方などを身に付けるようにする。 ○代表委員会や委員会活動、児童会集会活動などにおいて、学校生活の充実と向上のための課題や発意・発想を生かした活動の計画、児童会の一員として自分の果たすべき役割などについて考え、話し合い、決めたことに協力して取り組むことができるようにする。 ○学年や学級が異なる児童と協力し、自他のよさに気付いたり、自分のよさを生かして活動に取り組んだりして、児童会活動の計画や運営に主体的に取り組む、学校生活の充実と向上を図ろうとする態度を養う。</p>	<p>異年齢の児童同士で協力し、共通の興味・関心を目指すことによる活動の計画を立てて運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、個性の伸長を図りながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>○同好の仲間で行う集団活動を通して興味・関心を目指すことによる活動について理解するとともに、活動に必要なことを理解し活動の仕方を身に付けるようにする。 ○共通の興味・関心を目指す活動を楽しむ豊かにするための課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したり、人間関係をよりよく形成したりすることができるようにする。 ○クラブ活動を通して身に付けたことを生かして協力して目標を達成しようとして、現在や将来の生活に自分のよさや可能性を生かそうとして取り組む態度を養う。</p>	<p>全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>○全校または学年などの児童で協力して取り組む各学校行事の意義について理解するとともに、各学校行事に必要なことを理解し、それぞれの学校行事のねらいや内容に即した行動の仕方や習慣を身に付けるようにする。 ○学校行事を通して学校生活の充実を図り、人間関係をよりよく形成するための目標を設定したり課題を見出し、大きな集団による集団活動や体験的な活動に協力して取り組むことができるようにする。 ○学校行事を通して身に付けたことを生かして、集団や社会の形成者としての自覚をもって多様な他者と尊重し合いながら協働し、公共の精神を養い、よりよい生活をつくらうとする態度を養う。</p>
主な指導内容	<p>(1) 学級や学校における生活づくりへの参画 ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決 イ 学級内の組織づくりや役割の自覚 ウ 学校における多様な集団の生活の向上 (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ア 基本的な生活習慣の形成 イ よりよい人間関係の形成 ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成 エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成 イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解 ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用</p>	<p>学校の全児童により組織する児童会において、学校生活の充実と向上を図る活動を行う。 (1) 児童会の組織づくりと児童会活動の計画や運営 (代表委員会、各種委員会) (2) 異年齢集団による交流 (児童集会、たてわり班活動) (3) 学校行事への協力 (代表委員会、各種委員会)</p>	<p>学年や学級の所属を離れ、主として第4学年以上の同好の児童をもって組織するクラブにおいて、異年齢集団活動の交流を深め、共通の興味・関心を目指す活動を行う。 (1) クラブの組織づくりとクラブ活動の計画や運営 (2) クラブを楽しむ活動 (3) クラブの成果の発表 ※ クラブ発表会は文化的行事</p>	<p>(1) 儀式的行事：学校生活に有意義な変化や折り返し目を付け、厳粛で清らかな気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるようにすること。 (2) 文化的行事：平素の学習活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするようにすること。 (3) 健康安全・体育的行事：心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすること。 (4) 遠足・集団宿泊的行事：自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるようにすること。 (5) 勤労生産・奉仕的行事：勤労の尊さや生産の喜びを体得するとともに、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるようにすること。</p>
各教科・読書科	<p>学級活動の話し合い活動は、国語科を中心として各教科等の指導で身に付けた言葉の的確に理解したり表現したりする能力、互いの立場や考えを尊重し合う能力、要約して記録する能力などを実践的に活用したり、向上させたりする。 「(2)ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成」や「(2)エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」は体育科や家庭科など、(3)ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用については、国語科や総合的な学習の時間の学習などとも関連を図りつつ、特別活動の特質を踏まえて指導する。</p>	<p>各教科で身に付けた能力などを、児童会活動における楽しく豊かな学校生活づくりのためによりよく活用できるようにしたり学級活動の話し合い活動や係活動、集会活動などを通して育成した資質・能力は、自発的、自治的な活動を行う上で基本となるものである。こうした資質・能力を、代表委員会や委員会活動における話し合いや日常の取組、児童会集会活動などに生かすことができる。児童会活動で身に付けた自主的、実践的な態度などを各教科等の自発的な学習に生かしたりできるようにする。</p>	<p>各教科の学習を中心として行われる様々な教育活動の中で、一人一人の児童の自主的な活動が促され、それぞれの児童が自己の特性を生かしながら学級や学校の生活を送ることができるようになる。 また、各クラブからの意見を必要に応じて代表委員会に反映させるなど、それぞれの活動がより充実し発展していくようにする。 放送や新聞などの委員会の活動によって、各クラブの活動状況についての情報が広く児童に伝わるようになる。クラブ活動を通して身に付けた様々な技能や態度が、他の教育活動においても生かされるようにする。</p>	<p>○儀式的行事：学校や地域の事象について学習したことや、学校や地域の「一員としての自覚を高めるようにする。 ○文化的行事：国語や音楽、図画工作、などの学習の成果を発表し交流し合うことで、それらの学習の向上及び意欲を一層高める。日頃の学習の成果を総合的に発展させ、発表し合い、互いに鑑賞し合う行事として学習発表会、音楽会、展覧会などの活動を行う。 ○健康安全・体育的行事：体育の学習成果を発表し、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度を育成する。運動会で、発表し合い、互いに鑑賞し合う活動を行う。 ○遠足・集団宿泊的行事：社会や理科、生活などの学習を生かして、自然や文化などに親しみ、集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積む。 ○勤労生産・奉仕的行事：生活、社会などの学習を生かして、勤労の尊さや生産の喜びを体得させ、社会奉仕の精神を養う体験を行う。体験活動を通して気付いたことなどを振り返り、まとめたり、発表し合ったりするなどの事後の活動を充実させる。</p>
他の教育活動との関連	<p>「(1) 学級や学校における生活づくりへの参画」学級や学校の生活上の諸問題を見出し、自主的に取り上げ、協力して解決していく活動を通して、望ましい人間関係の形成やよりよい生活づくりに参画する態度などに関わる道徳性を養う。 「(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」基本的な生活習慣の形成やよりよい人間関係の形成、心身ともに健康で安全な生活態度の形成、食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成を重視する。 「(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現」現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成、社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解、主体的な学習態度の形成を重視する。</p>	<p>異年齢の児童が学校におけるよりよい生活を築くために、諸問題を見出し、自主的に取り上げ、協力して解決していく自発的、自治的な活動を通して、異年齢によるよりよい人間関係の形成やよりよい学校生活づくりに参画する態度などに関わる道徳性を養う。</p>	<p>同好の異年齢集団による共通の興味・関心を目指す活動を通してよりよい人間関係の形成や個性の伸長、よりよいクラブ活動づくりに参画する態度などに関わる道徳性を養う。</p>	<p>儀式的行事では、礼儀正しく真心をもって行動すること、みんなで協力し合いよりよい校風をつくること、郷土や国を愛する心をもつことを、文化的行事では、美しいものや気高いものに感動する心をもつことを、健康安全・体育的行事では、健康や安全に気を付け、生命あるものを大切にすることを、遠足・集団宿泊的行事では、自然環境を大切にすることを、勤労生産・奉仕的行事では、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことを重視する。</p>
外国語活動	<p>外国語活動において「友達との関わりを大切にしたい体験的なコミュニケーションを行う」特質を生かして、「文化的寛容さをもち、多様な他者を尊重する態度」を大切に、友達とのコミュニケーションを図る活動を一層効果的に展開できるようにする。</p>	<p>外国語活動において「友達との関わりを大切にしたい体験的なコミュニケーションを行う」特質を生かして、「文化的寛容さをもち、多様な他者を尊重する態度」を大切に、外国語活動で学んだコミュニケーションの場面や働きに配慮した体験的なコミュニケーション活動の成果を生かすようにする。</p>	<p>外国語活動において「友達との関わりを大切にしたい体験的なコミュニケーションを行う」特質を生かして、「文化的寛容さをもち、多様な他者を尊重する態度」を大切に、「相手との関係を円滑にする」、「事実を伝える」、「考えや意図を伝える」、「相手の行動を促す」などの学習体験を生かす。</p>	<p>外国語活動で身に付けた国語や我が国の文化に対する理解を深め、世界の人々と相互の立場を尊重、協調しながら交流しようとする態度を諸行事に生かす。</p>
総合的な学習の時間	<p>総合的な学習の時間で身に付けた自分とのかかわりに基づき課題発見力、主体的な学習態度などを、学級の諸問題を解決する実践活動に生かせるようにする。</p>	<p>総合的な学習の時間で学んだ問題解決のプロセスや友達同士の学び合いなどを、学校の諸問題の解決や、児童会集会の企画・運営などに生かせるようにする。</p>	<p>総合的な学習の時間で学んだ問題解決のプロセスにおける創意工夫や、クラブ活動における多様な展開に生かせるようにする。</p>	<p>総合的な学習の時間の環境や自然を課題とした問題の解決や探究活動として行われる体験活動と遠足・集団宿泊的行事との関連や、総合的な学習の時間に行われる社会との関わりを考える学習活動としての体験活動と、勤労の尊さや生産の喜びを体得し社会奉仕の精神を養う体験を行う勤労生産・奉仕的行事との関連を重視する。</p>
家庭や地域との連携	<p>学級活動における楽しく豊かな学級や学校の生活づくりや健全な生活態度を育成する活動、キャリア形成のための活動を効果的に展開するために、個々の家庭の状況に配慮したり、家庭での指導との連携を図ったり、地域の人材、施設を活用したりする。 学級活動「(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」は、児童の家庭生活との関連が深いため、家庭での教育と連携を図る。その際、保護者と児童が一緒に学び合う工夫をしたり、保護者や家庭などの個人情報やプライバシーなどの問題に十分留意して指導計画を作成したりする。 学級活動「(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現」は、児童に社会や職業との関連を意識させる学習であるため、積極的に地域の人材を活用し、専門的な立場の人々から話を聞くことをする。</p>	<p>児童会活動における楽しく豊かな学校生活づくりの活動を効果的に展開するために、家庭教育施設や地域の協力を得たり、社会教育施設等を活用したりする。</p>	<p>児童の興味・関心を基本としながら、クラブ活動を効果的に展開するために、社会教育施設を活用したり、外部講師や地域の教育力を活用したりする。</p>	<p>文化的行事や健康安全・体育的行事などにおいて、地域社会の人々が参観しやすいように、期日などを考慮したり、地域の伝統文化に触れる活動や地域の行事と学校行事との関連を図って実施するなどして、学校の教育について積極的に地域の人々に理解を得る。また、勤労生産・奉仕的行事などでは、保護者や地域の関係団体の協力を得るなど地域の人々との連携を図ったり、家庭への積極的な参加を呼びかけたりする。</p>
備考	<p>【キャリアパスポート記入事項】 ○新しい学年がはじまりました ○学期ごとのめあて・ふりかえり</p>	<p>【キャリアパスポート記入事項】 ○委員会カード</p>	<p>【キャリアパスポート記入事項】 ○クラブカード</p>	<p>【キャリアパスポート記入事項】 ○運動会項張りカード ○学芸行事項張りカード ○宿泊行事項張りカード</p>